

NPO・ボランティアのための助成金情報一覧

<令和8年3月応募締切分>

タイトル	応募期限	対象	助成金額等	申込・問合せ先
1 前田和子基金 重症児等と家族に対する 支援活動応援助成	3/10(火) 23時59分 必着 Web応募	<b>団体</b> 非営利の活動(事業)展開を目的とし、所定の要件を充足する団体(法人格の有無不問) <b>活動</b> 「重い病気に向き合う、または重度の障がいのある、または医療的ケアを必要とする、子ども・若者(以下、重症児等と記載)」と、その家族(兄弟も含む)を支援することを目的とした以下の活動 ① 重症児等や家族の居場所(通所・宿泊含む)・遊び場・学習の場等を地域に開設または運営する活動 ② 重症児等や家族の孤立防止を目的とする活動 ③ 重症児等の学習環境向上や社会体験の機会提供などを目的とする活動 ④ 重症児等や家族のレスパイトを目的とする活動 ⑤ 重症児等や家族のピアサポートや交流を目的とする活動 ⑥ その他、重症児等や家族の支援のために必要と認められる活動	1団体あたり： 上限300万円 総額：6,000万円予定	社会福祉法人 中央共同募金会 基金事業部
2 緑の募金	3/15(日) WEB申請： 24時まで	<b>活動</b> 森林ボランティア、里山保全団体、NPO等による以下の活動 ①国内外の森と人を元気にする活動 ②地球の緑を増やし、地球温暖化防止や生物多様性保全に貢献する活動 ③森づくりのリーダーを育てる活動 ④森や里山で子どもたちを育てることができる活動 <b>団体</b> ①自主的、組織的な活動で事業を完了できること ②交付金の使途に係る条件遵守が確実であること ③営利を目的としない民間団体で、所定の要件を全て満たしていること		公益社団法人 国土緑化推進機 構「緑の募金」 公募担当
一般公募 「森林整備・緑化推進」		<b>事業</b> 全国的又は国際的な見地から行われる先駆的、モデル的な事業で、国内における森林の整備又は緑化の推進事業 ・国内で行われ、2以上の都道府県にわたるなど広域的な事業効果の波及が期待される次のいずれかに該当し、広く一般参加を呼びかけて行う事業 ①森林の整備又は緑化の推進を行う事業 ②災害に強い森林づくり事業 ③山村住民と都市住民の協働による森林の整備等 その他、上記に類する森林の整備又は緑化の推進を目的とする事業、イベント	1事業あたり： 限度額200万円	
次世代育成公募 「次世代の森づくりを 担う人材育成」		<b>事業</b> 高校生・大学生などの若者が、森林や樹木を保全し増やしていく活動に参加することにより、将来の森づくりリーダーを育てていくことを目指す活動で、所定の要件を全て満たす活動	1事業あたり： 限度額200万円	
特別公募 「つながる、つなげる、 子ども若者応援」		<b>事業</b> 子どもたちの自然環境への理解や興味関心を広げ、様々な感性や表現力、生きる力の向上、さらに、それらに必要な森林を維持する将来の森づくりリーダーの育成に貢献し、複数の都道府県にわたるなど広域的な事業効果の波及が期待される、市民団体等による所定要件に該当する活動	1事業あたり： 限度額200万円	
都道府県緑推推薦 「子どもたちの未来の森 づくり」		<b>事業</b> 小学生・中学生の「森の学び」(森林環境教育)のフィールドとして「地域のシンボルとなる森づくり」と教育・体験活動等で、NPO団体・自然学校、自治会等の組織が単独、又は小・中学校、地方自治体等と連携して企画・実施する など所定の要件を満たしていること	1事業あたり： 限度額200万円	
3 地域づくり・街づくり 支援事業	3/19(木) WEB申込： 17時まで 郵送申込： 当日消印有効	地域づくり・街づくりに資する下記事業の活動を行うNPO法人または同等と認められる市民活動団体及び近畿の風景街道に属する活動団体 1)地域の活性化に資する事業 ○地域間の交流・連携 ○街の美化・緑化 ○地域の特性・資源の活用 ○地域の歴史・文化 等 2)地域の環境保全に資する事業 ○道路・河川・海の清掃・美化 ○親水活動 ○里山保全 ○環境教育 等 3)地域の安全・安心に資する事業 ○防災・減災活動 ○災害救援 ○防災教育 等	1件あたり： 限度額50万円 (10件程度)	一般社団法人 近畿建設協会 経営企画部

4	プロジェクトI<アイ> 子ども生活応援基金	3/23(月) WEB申請： 17時まで	事業 団体 日本国内で、主に養育環境に恵まれない子どもたちを対象に「衣・食・住」の支援を行う *社団法人・財団法人（一般および公益）、社会福祉法人、特定非営利活動法人など非営利活動・公益事業を行う団体（法人格のない任意団体も含む） *日本国内に活動の主となる事務所があり、活動実績2年以上の団体	1件あたり： 50万円～300万円 総額：1,200万円（予定） 採択件数：4-10件（予定）	公益社団法人 日本フィランソ ロピック財団 「プロジェクト I<アイ>子ど も生活応援基 金」		
5	第38回NHK厚生文化事業団 わかば基金	3/26(木) 必着 【郵送のみ】	地域の福祉活動や被災地などの復旧・復興に取り組むボランティアグループやNPO *法人格を有する団体は対象外（NPO法人は申請可）	1グループ：最高50万円 （15グループほど予定）	社会福祉法人 NHK 厚生文化 事業団「わかば 基金」係		
	支援金部門		国内で、ある一定の地域に福祉活動の拠点を設け、この支援金でより活動を広げたいというグループ <活動例>・地域の高齢者や障がい当事者、生活困窮者、困難を抱えた人々の日常生活への支援や、さまざまな福祉サービスの提供 ・障がい当事者の社会参加や就労の場づくりの促進、またその活動の支援 ・文化・芸術活動などを通じての、障がいや年齢の枠をこえた交流や相互理解 に向けた活動 ・福祉活動を通じての被災地の復旧・復興活動 ・被災地の状況に即した、新たな福祉事業の立ち上げ				
	PC・モバイル端末 購入支援部門		地域で活発に福祉活動に取り組んでいて、PC やモバイル端末を使用することで、より高齢者や障がい当事者への支援の充実を図れるグループ <活動例>・地域の高齢者や障がい当事者、生活困窮者、困難を抱えた人々などへのパソコン指導サービス ・障がい当事者の社会参加や就労の場づくりの促進、またその活動の支援 ・要約筆記、字幕、点訳等での情報保障の充実 ・オンラインでの学習支援や相談事業の実施 ・福祉情報の提供やネットワークづくりを通じての地域福祉活動の向上 ・福祉活動を通じての被災地の復旧・復興活動	1グループ：最高10万円 （30グループほど予定）			
6	タカラ・ハーモニスト ファンド助成事業	3/31(火) 必着	以下(1)～(3)の内容に関する日本国内での実践的な活動・研究で、所定の条件を満たすもの (1)森林・草原、木竹等の緑の保護、育成 (2)海・湖沼・河川等の水辺の良好な自然環境の整備 (3)緑と水に恵まれた良好な自然環境の保全及び創出	助成額：それぞれの所要額 総額：500万円程度 （10件程度）	みずほ信託銀行 株式会社京都支 店 公益信託タ カラ・ハーモニ ストファンド事 務局		
7	連合・愛のカンパ	3/31(火)	以下の社会貢献活動を実践しているNGO・NPO等の事業・プログラムで、所定の要件を満たすもの 1.大規模災害などの救援・支援活動 2.戦争や紛争による難民救済などの活動 3.人権救済活動 4.地球環境保全活動 5.障がいのある人たちの活動 6.教育・文化などの子どもの健全育成活動 7.医療・福祉などの活動 8.地域コミュニティー活動 9.生活困窮者自立支援活動	助成期間1年 *必要と判断された場合、 下記の年数まで可能	日本労働組合総 連合会(連合)運 動推進局「連合・ 愛のカンパ」		
	地域助成		連合組合員およびその家族、あるいは連合組合員OB・OGが、運営に参加しているNGO・NPO等、または地方連合会が日常的な活動で連携しているNGO・NPO等で、各都道府県にある地方連合会（連合の地方組織）の推薦があること 等			通算3年	地域助成担当
	中央助成		海外や国内で救援・支援活動に取り組んでいるNGO・NPO等で、連合に加盟する構成組織(産業別組織)の推薦があること 等			通算5年	中央助成担当
8	ポーラ伝統文化振興財団 助成	3/31(火) 当日消印有効	日本の無形の伝統文化の保存・振興をはかるため、伝統工芸技術、伝統芸能、民俗芸能・行事の各分野で、以下①～⑤の事業を行う個人、団体（法人格の有無不問で、原則、永続性のある活動団体であること） ① 無形の伝統文化に関する保存・記録作成事業 ② 無形の伝統文化の後継者育成・普及事業 ③ 無形の伝統文化に関する調査・研究 ④ 無形の伝統文化の復元・伝承事業 ⑤ 無形の伝統文化の保存のために欠くことのできない技術や原材料・道具等に関する伝承事業	1件あたり： 30万円～200万円程度 保存・伝承・振興事業： 3～4件程度 調査・研究事業：1件程度	公益財団法人 ポーラ伝統文化 振興財団 助成 事業担当 （事務局）		

詳細は応募要項、応募要領等をご参照ください。